

MS & AD インシュアランス グループ ホールディングス株式会社  
MS & AD ゆにぞんスマイルクラブ事務局 御中  
公益財団法人日本手芸普及協会 御中

アフガニスタン・イスラム共和国  
子どもたちへの手編みセーター等配布事業  
完了報告書



2017年3月8日

---

特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン  
〒164-0012 東京都中野区本町 1-32-2  
ハーモニータワー3F  
TEL. 03-5334-5350 Fax. 03-5334-5359  
URL: [www.worldvision.jp](http://www.worldvision.jp)

## 御礼

貴社・貴会によりご支援をいただきました、アフガニスタン「子どもたちへの手編みセーター等配布事業」が完了しましたので、ここに感謝とともにご報告致します。

セーターを受け取った子どもたちからは心のこもったセーターの贈り物に興奮と喜びの声があがり、贈呈式では笑顔が溢れていました。セーターについていた編み手の方の名札を見て「親切な日本の方にありがとう伝えたい」との声もありました。ご支援は、厳しい環境で日々生きているアフガニスタンのストリート・チルドレンの子どもたちに大きな喜びと希望をもたらしています。

貴社・貴会のご関係者の皆さまと、その喜びと希望を共に分かち合っていただければ幸いでございます。

このご支援に心から感謝し、これからも、世界で貧困や困難の中にある子ども達や人々への温かいご支援をよろしくお願ひ申し上げます。

特定非営利活動法人  
ワールド・ビジョン・ジャパン

## 1. 支援事業概要

<b>支援事業名</b>	子どもたちへの手編みセーター等配布事業
<b>支援事業地</b>	アフガニスタン・イスラム共和国ヘルート州ヘルート市 ワールド・ビジョン・アフガニスタン ストリート・チルドレン・センター
<b>支援事業期間</b>	2016年10月～2016年12月（3ヶ月間）
<b>受益者</b>	ストリート・チルドレン・センターを利用する子どもたちとその保護者の一部 2,257人
<b>支援申請金額</b>	1,450,000円
<b>内容</b>	物資支援として提供された手編みのセーターなどウール類をストリート・チルドレン・センターを利用する子どもたちとその保護者の一部に配布する。

## 2. 支援事業地概要

### （1）事業実施国概要

アフガニスタンは、中東・中央アジアに位置する内陸国で、アフガニスタン・イスラム共和国を正式名称とする共和制国家です。一人あたりの GNI（国民総所得）は 630 米ドルで世界 202 位<sup>1</sup> に位置し、40 年近くに及ぶ紛争のため、多くの人口が平和と安定を求めて欧洲諸国やアメリカ等の国外に難民として流出し、今なお約 270 万人が難民として国外に逃れたままとなっています（2015 年）<sup>2</sup>。政府軍と反政府軍との戦闘の長期化は、安定と和平への希望に影を落としており、アフガニスタン政府や国際社会が、持続可能な開発、援助からの自立、および経済発展を成し遂げるために今後も引き続き協力していくことが求められています。

### （2）事業実施地域概要

ヘルート州は首都カブールより西方 600km の距離に位置し、人口 170 万人が 17 郡に居住しています。ヘルート州は、イランとトルクメニスタンと国境を接しているため、紛争から避難する人々の主要ルートとなっていました。首都やパキスタン国境に接している地域に比較すると、紛争による直接的な影響が限定されたものの、今なお 60 万人に及ぶ国内避難民が滞在している地域です。ヘルート州では、農産物の生産が盛んで、アフガニスタン産のサフランの 90% が作られている地域です。

<sup>1</sup>World Bank Data 2015 (GNI per capita ranking, Atlas method)

<sup>2</sup><http://www.unhcr.org/uk/figures-at-a-glance.html>

### 3. 支援事業の背景と目的

ヘラート州の州都ヘラート市では、他の地域から紛争を逃ってきた人々の流入や、近年のパキスタンやイランからの帰還民の増加によって、貧しい世帯が増加しています。冬の間ヘラート市の気温はマイナス 10°C を下回りますが、このような家庭は世帯収入が低いため、防寒着などの必要な衣服や部屋を暖めるための暖房費を貢うことができません。

貧困家庭の多くの子どもたちは物乞いや靴磨き、ごみ捨て場から売れるものを探すなど路上で働き、一家の生計を支えることを求められています。このような路上で働く子どもたち、すなわち、ストリート・チルドレンが、ヘラート市には少なくとも約 5,000 人以上いるとされていますが、彼らは日々、身体的・性的暴力の被害や、犯罪への関与、麻薬の犠牲といったあらゆる危険や搾取に直面しながら暮らしています。路上で働く多くの子どもたちが心に傷を負い、気分の落ち込みや鬱状態などに生涯に渡って苦しむことも少なくありません。

またアフガニスタンは最も就学率や識字率の低い国の一であり、働く代わりに教育を受ける機会を失うことは、子どもたちが将来にわたって貧困から抜け出すことができない大きな要因となっています。経済的な困窮により大人が子どもへ十分に目をかけられること、そして子どもの権利や教育の重要性についての認識が不足していることが、子どもたちがあらゆる暴力・搾取から保護され、教育を受け、そして健やかに成長するための障害となっています。

ワールド・ビジョンは 2011 年よりストリート・チルドレン・センターの設立・運営を通して、身寄りがなく路上で暮らす子どもたちの支援や、保護者の無関心や労働への従事など子どもを弱い立場に追い込む課題の解消を目指し、子どもの権利の認識向上と、教育機会促進のための支援活動を行っています。毎年約 100 人の 6–12 歳のストリート・チルドレンの子どもたちとその家族に対し、最低限の医療サービスの提供や、カウンセリング、学習支援やレクリエーション活動など医療・栄養・教育・心理的サポートの面で支援を提供してきました。また、保護者への働きかけとして、子どもの教育の重要性について啓発活動を行ったり、保護者が雇用機会を得て家族の困窮状態を改善できるよう就業機会についての助言実施などを行っています。

本事業は、ストリート・チルドレン・センターを利用する子どもたちを、冬の寒さから守るために、暖かい羊毛のセーターや帽子、マフラーなどを送ることを目的としています。同時に家族や社会から十分な保護に恵まれず、厳しい環境で生きる子どもたちが、手編みのセーターを送られることによって「あなたたちを忘れていません。あなたたちは大切な存在なのです。」というメッセージを受け取り、子どもたちが自信や尊厳を持つことができることを目指しています。

#### 4. 支援事業内容

##### 1) 活動内容

ワールド・ビジョンを通してヘラート州ヘラート市のストリート・チルドレンの子どもたちとその保護者の一部に、「世界の子どもたちへ編み物作品を贈ろうプロジェクト」ご参加者の皆さまより寄贈いただきました手編みのセーター等を届けました。配布先は、市内のストリート・チルドレン・センターを利用する子どもたちと、特に経済的に困窮している世帯の保護者としました。配布対象者は、各利用者の世帯の状態を熟知するストリート・チルドレン・センターのスタッフやワールド・ビジョン・アフガニスタンのスタッフを中心に協議され、脆弱性の度合いによって選定されました。

今年度はアフガニスタンへ向けた発送という初めての試みでした。10月22日にセーターの箱詰め作業及び物品発送を行い、10月29日に成田空港から空路にてアフガニスタンのカブール国際空港へ輸送、10月31日にカブール空港到着後、税関手続きを経て11月26日に空港において物品を受領しました。航空輸送に関わるアフガニスタン国内の規制が厳しくなったことから、急きょ空路から陸路へ変更しカブールからヘラートへ輸送しました。不安定な治安情勢のため、トラックなどの輸送車両が不足しており、さらに道中の没収や略奪のリスクを避けて、バスの荷台を利用し3回に分けて輸送を行いました。その結果、厳冬期が始まる12月初旬にヘラート市のストリート・チルドレン・センターまで、良好な状態を保ったまま、ご支援いただいた物品全てを搬送することができました（12月7日、10日、14日）。物品はサイズごとにセーター、マフラー、帽子などのセットで袋詰めされ、子どもたちに配布いたしました。物品の贈呈を4回に分けて行い、初回の12月18日には贈呈式を執り行いました。式典では、ストリート・チルドレン・センターのスタッフやワールド・ビジョン・アフガニスタンのスタッフにより子どもたちにセーターやマフラーを直接手渡しました。

- 活動内容

支援活動	数量
手編みのセーターなどの物品配布	【ウール類】セーター1,427着、帽子2,257個、マフラー2,017個、ベスト27着、手袋3個 合計 5,731点

性別・年齢別物品配布受益者リスト

年齢	男子	女子	合計
4-7歳	128名	175名	303名
7-9歳	231名	223名	454名
10-12歳	337名	226名	563名
13-15歳	330名	157名	487名
16-18歳	258名	145名	403名
18歳以上	38名	9名	47名
合計	1,322名	935名	2,257名

配布日	配布物品				
	セーター	マフラー	帽子	ベスト	手袋
2016年12月18日	350	350	350	27	3
2016年12月19日	538	538	538	0	0
2016年12月20日	539	539	539	0	0
2016年12月21日	0	590	830	0	0

## 5. 支援事業による効果

- セーター等の防寒着を配布された子どもたちが、寒さによる病気から守られ、暖かく健康に冬を過ごせるようになります。子どもたちがより励まされて、通学や勉学を続けることができます。
- 質の良い手編みの衣料のため、来年以降にかけても長きにわたり使うことができ、貧しい家庭の家計も支えています。

### ～子どもたちの声～

「あったかいよ。外に出るときはこれを着けるんだ。新しい服を着たのは初めてだよ！」

「暖かいし、この服大好きって伝えてください！僕のお母さんもこういう暖かい服を編んでくれたらって思う。もう冬なんて怖くないよ。」

ミルワイス君（13歳）

路上で働きながらストリート・チルドレン・センターの支援で学校に通えるようになった少年



「日本の方々にありがとうって伝えてください。それから私、勉強を頑張るって。学校の先生になって、私たちみたいに貧しい人たちを助けるの。」

サベラちゃん（12歳）



### ～ワールド・ビジョン・アフガニスタンのスタッフから～

「ヘラートに住む支援を必要とする子どもたちへ素晴らしい贈りものを送ってくださった日本の皆さんに深い感謝を申し上げます。この子たちにとっても、またこの子たちの親にとっても、厳しい冬を耐えることができる暖かい服をお送りくださったことは、非常にありがたいことです。」

皆さまのご支援は、子どもたちにとって本当に大きな意味を持つ大きな贈り物です。子どもたちの心に希望をもたらすご支援は、アフガニスタンに明るい未来をもたらしてくださいます。」

日本の皆さまのあたたかいご支援に、心から感謝いたします。」

## 5. 会計報告

### 収支計算書

内容	実績(円)
ご支援金額(物品寄付)	¥2,133,200
ご支援金額(募金)	¥1,700,000
MS&AD ゆにぞんスマイルクラブ様より	¥1,450,000
一般募金者より	¥250,000
<b>収入額合計</b>	<b>¥3,833,200</b>
寄付物品価格 (セーター、マフラーなど)	¥2,133,200
輸送費	¥1,253,610
現地配布にかかる費用	¥61,683
<b>現地事業費合計</b>	<b>¥3,448,493</b>
啓発教育費及び地域開発援助事業管理費等	¥384,707
<b>支出額合計</b>	<b>¥3,833,200</b>
差額	¥0

### 【連絡先】

特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン

〒164-0012 東京都中野区本町 1-32-2 ハーモニータワー3F

TEL : 03-5334-5350 FAX : 03-5334-5359

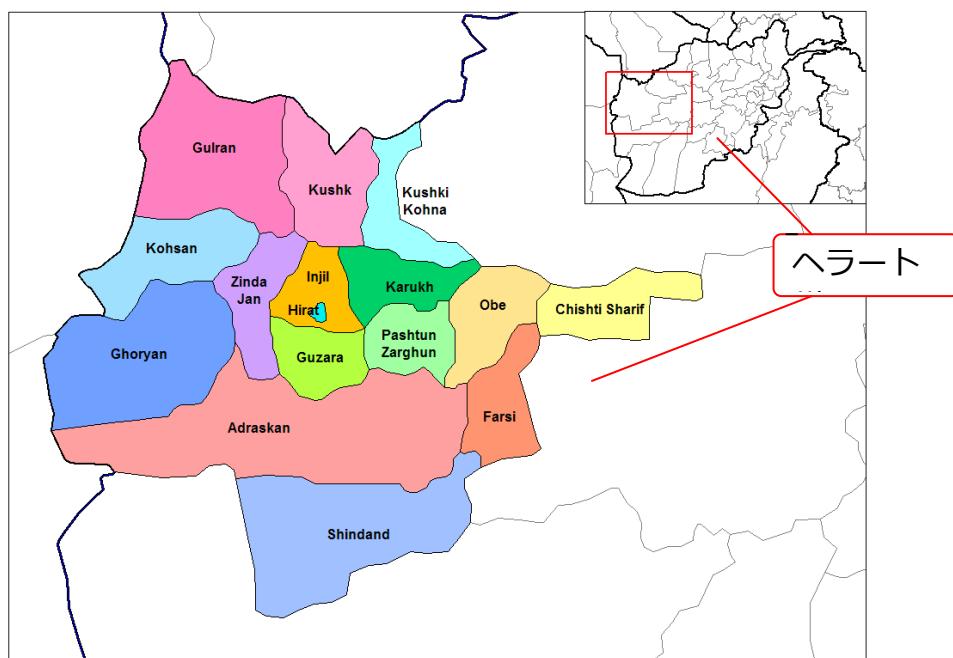
担当 : 谷村 (マーケティング第2部ドナーエンゲージメント課)

## 【添付資料】

### ① 支援地地図 :



アフガニスタン位置図



アフガニスタン国ヘルート州 拡大図

②支援事業写真



ワールド・ビジョン・アフガニスタンが運営するストリート・チルドレン・センターに集まった子どもたち



寄贈を受けたストリート・チルドレン・センターの子どもたちとスタッフ



スタッフからセーターの寄贈を受ける女の子

『愛と温もりの贈り物』～贈呈式の現場からの報告

子どもたちは色とりどりの暖かそうな手編み衣料を目にしてとても嬉しそうです。

「これを私に？なんてきれいなの！着てもいい？」ストリート・チルドレンの少女のひとり、ゾハルちゃんが尋ねます。ゾハルちゃんは、日本の方が彼女のために温かい素敵なお洋服をプレゼントしてくれたことが信じられない！という様子で顔を輝かせています。

「このラベルにはなんて書いてあるの？英語だから、僕、読めないんだ。先生、教えて。」一人の男の子が尋ねました。「このラベルには、このセーターを編んで、あなたにプレゼントしてくれた人の名前が書いてあるのよ。」ストリート・チルドレンのカウンセラーの先生が答えます。

「えっ、本当に？」男の子は驚いた様子で答えました。

「なんて優しい人がいるんだろう。僕、その人に有難うって伝えたいよ。」彼は答えました。

子どもたちは、セーターやマフラー・帽子などが入ったパッケージを受け取るとすぐに、袋を開き、色とサイズを調べています。

「見て、見て！僕のセーターは黄色だよ！うわあ、マフラーも入ってる！

僕、自分のマフラーなんてこれまで持ったことなかったよ。初めてのマフラーだ！」男の子は嬉しそうに友達に話しています。

「先生？」一人の女の子が、驚いた様子で、カウンセラーの先生にたずねました。「これ全部手編みなの？どうしたら、こんなに沢山のセーターやマフラーを編むことができるの？」

先生は「そうです、全部手編みですよ。多くの親切な日本の人たちが、皆さんのためにセーターやマフラーを編んでくれたのですよ。」と答えました。すると女の子はもう一度セーターを見て微笑みました。



セーターを寄贈してくださった方の名前のラベルをみせる男の子



黄色い帽子のプレゼントを受けた女の子



贈られた衣料を嬉しそうに身に着ける子どもたち



「日本の皆さん、有難うございます！(Thank you!)」と声をあげる子どもたち

以上